

デジタルドリル活用で児童の積極的な学習活動を支援

島田市立金谷小学校

所在地： 静岡県島田市金谷根岸町33番地

島田市立金谷小学校では、本年度中には全校でのデジタルドリルを用いた学習活動の定着を実現し、次年度に向けて習熟度別指導や自由進度学習のシーンでの効果拡大を視野に指導を進められている。今回のレポートは、実際の授業風景を見学させていただいた中で、授業の中でのデジタルドリルの具体的な活用法とその効果についてまとめた。

✓ 学習シーンとICT活用タイミング

ICT活用授業レポート

今回取材したスマイルネクスト活用シーン

活用シーン

1年生 国語
4年生 算数
特別支援級 算数

ICT活用メリット

- ・事前の教材準備が大幅に減少
- ・プリントの採点作業が不要
- ・児童の学習状態の見える化
- ・児童が意欲的に自習活動へ取り組めるなど

スマイルネクスト活用ポイント



授業時間

● 1年生

手書き学習による
確かな漢字の習熟

確認・復習させたい漢字は
先生から事前に課題として配布



課題が終わった児童から
「読み、書き、書き取り」の学習を継続



(読み・書き)

- 「読み・書き」を紙プリントと同じように"手書き"で回答
- ご褒美機能で綺麗な漢字がかけるまで何度も自発的に学習

● 4年生

単元の確認テスト
作成を自動化

簡単な条件設定で確認ワークを
即座に自動作成



正答率の低い児童やクラスで間違い
の多い問題などを発見



(正答結果一覧)

(回答内容一覧)

- 教材準備の手間が大幅減少、授業中でも即座に作成可能
- 正答状態を常に確認しながら補充解説や個別指導を実行

● 特別支援級

得意な教科・単元
を伸ばす取り組み

おすすめ問題だけでなく
単元ごとの習熟度も数値化して表示



基礎の習熟が弱い単元は学年を
さかのぼって問題を提案



● 活用ワンポイント！

レベルアップドリルは所属学年の単元を対象に理解度レベルを解析する仕様。

こちらの学校では、先生が児童の所属学年をフレキシブルに変更する権限を持つことで、所属学年以外の教材を学習している場合でもその単元の理解度レベルが表示されるように運用している。

- AIが児童個別の理解度を分析して適切な問題を提示
- 苦手だけでなく伸びている単元も積極的にAIが提案